

Yokogawa IR Day 2022

～開催にあたって～

代表取締役社長

奈良 寿

2022年12月9日

証券コード：6841
横河電機株式会社

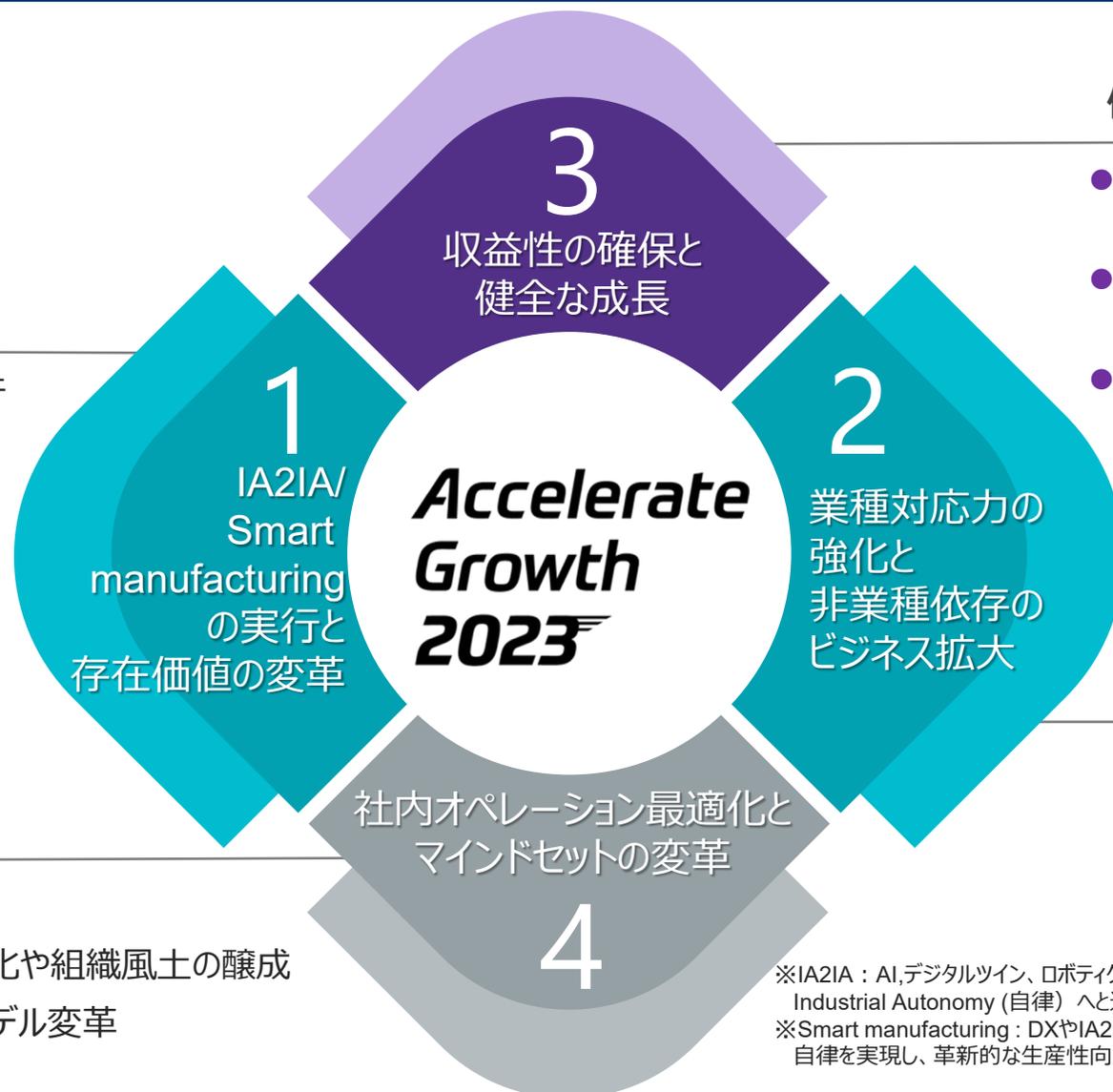
Accelerate Growth 2023 4つの基本戦略

提供価値の拡張

- IA2IAの構想の実行フェーズへの移行
- Smart manufacturingによるソリューションの提供範囲の拡大

社内基盤の強化

- 戦略立案機能の強化
- 挑戦を奨励する企業文化や組織風土の醸成
- Internal DXとビジネスモデル変革



価値提供における収益性と成長

- 大規模プロジェクトのナレッジ集約と効率化
- 高い価値を生む製品群へのリソース集中
- ソフトウェアやエンジニアリングの領域での利益確保

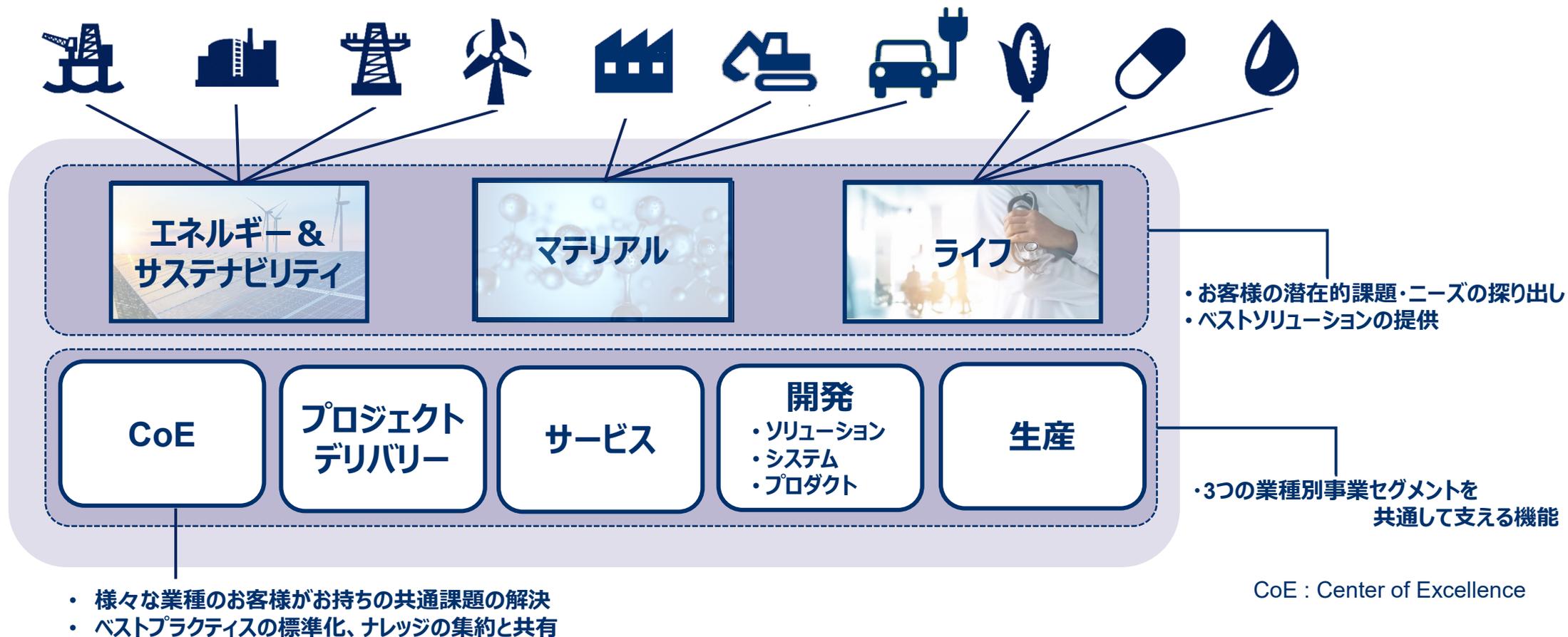
提供価値の拡張

- 総合エネルギー企業にシフトするお客様への新たな価値の提供
- 他業種、非業種依存のビジネスの拡大

※IA2IA : AI,デジタルツイン、ロボティクスなどのDX関連技術を取り込み、Industrial Automation(自動)からIndustrial Autonomy (自律) へと進化させる活動。

※Smart manufacturing : DXやIA2IAによって生産現場、エンタープライズ、サプライチェーンにおける自律を実現し、革新的な生産性向上を達成する活動。

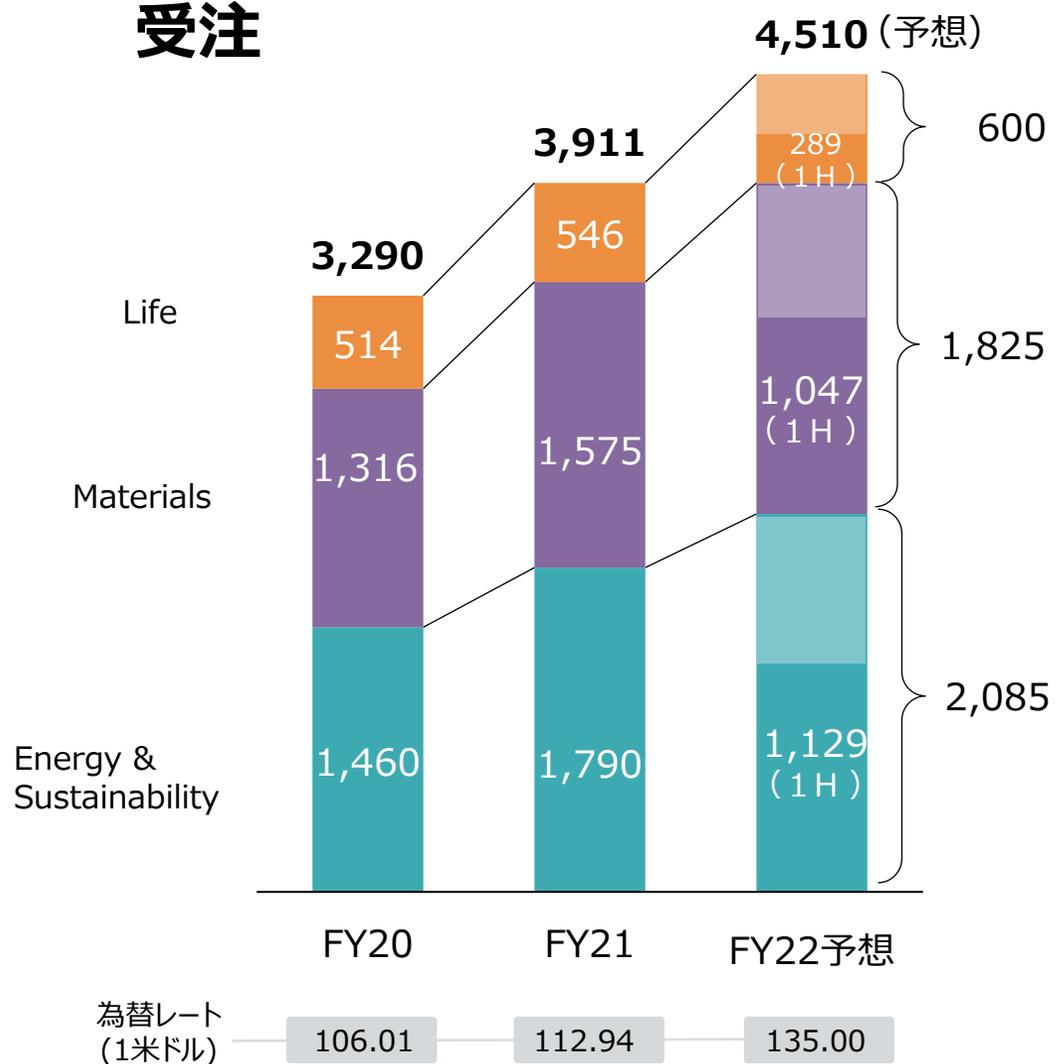
グループ全体として最適かつ効率的な経営資源配分



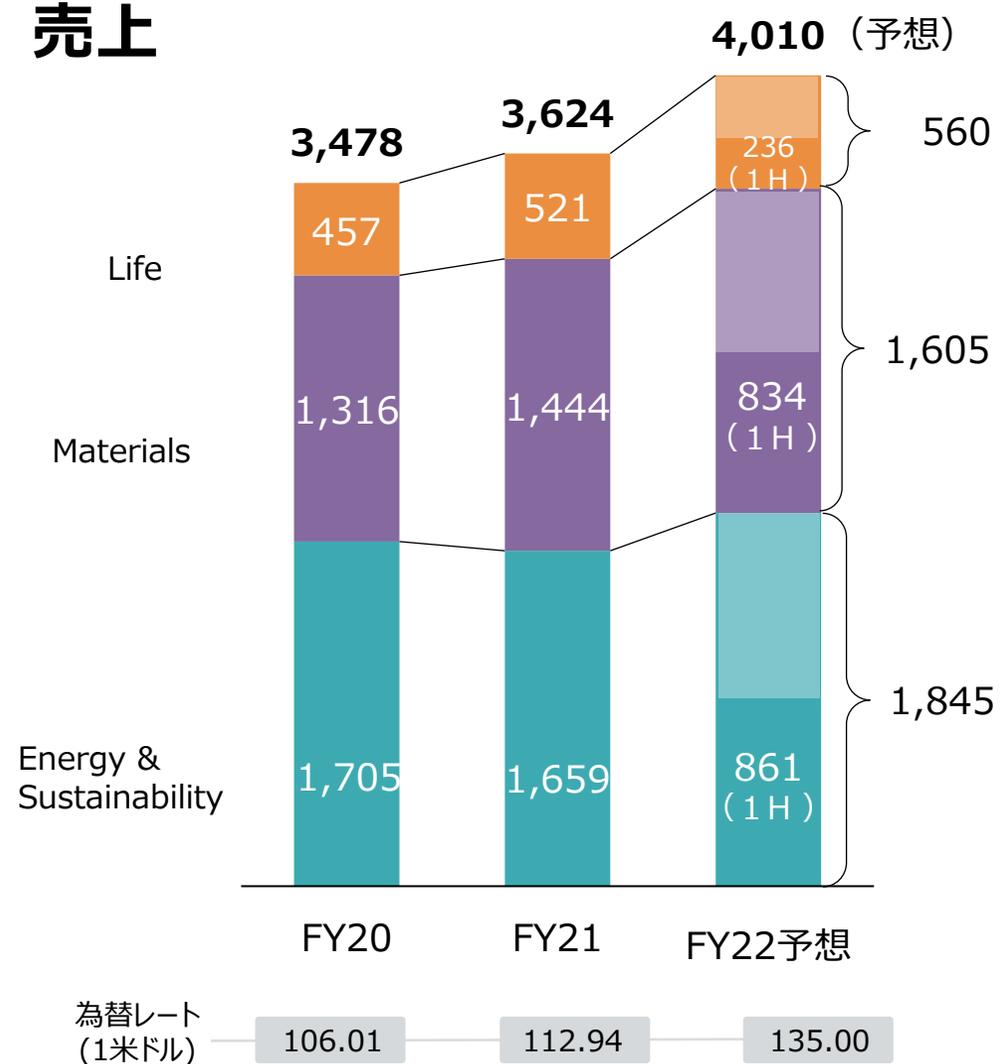
制御受注、制御売上

(億円)

受注



売上



組織連携強化の活動が充実し、引き合い増・受注増へ

日本で培ったソリューション・ナレッジを展開・営業活動サポート
海外拠点間の連携、ナレッジシェア強化



★ グローバルトレーニングセンター（シンガポール）

お客様価値に着目した独自のプログラムでセールスマンバーを育成



マイニング

海外拠点間の連携 → 南米で初の大型受注

マイニング・メタル業種での機会拡大

様々な業種のベストプラクティスとグローバルサービス体制の強みを活かし、マイニング業種のお客様課題に対応することでさらなるビジネス成長を目指す

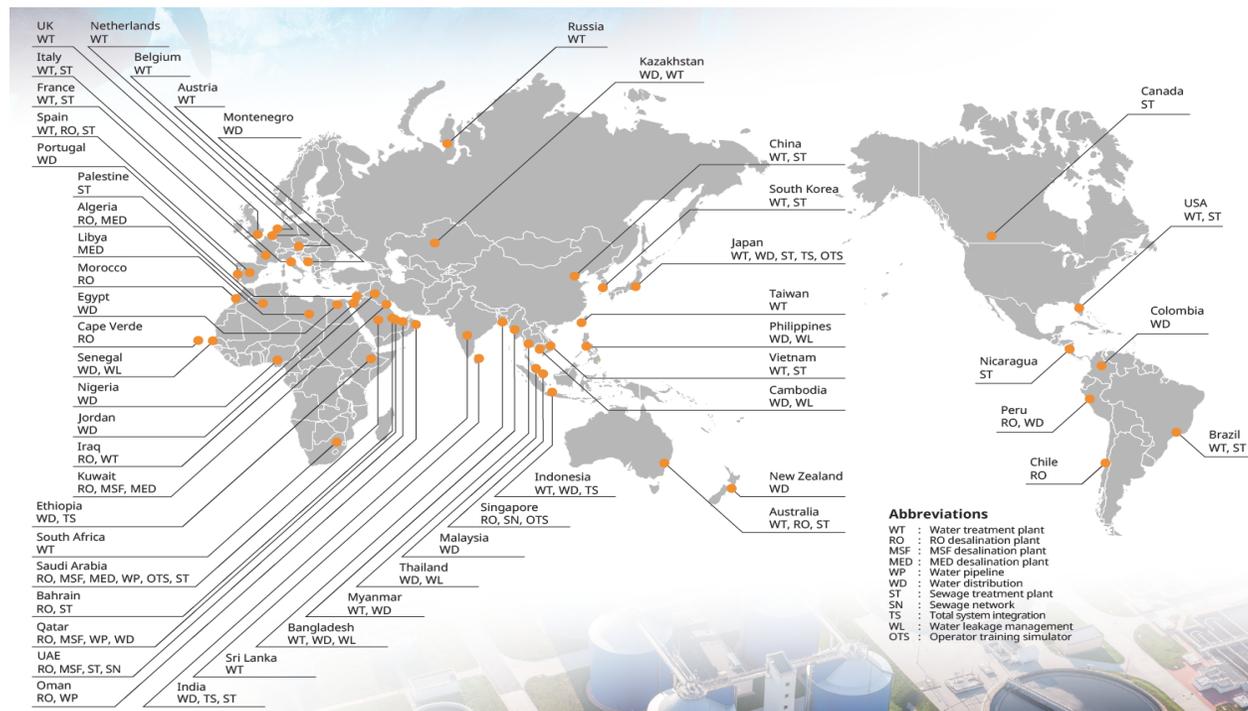
- 安全性
- 環境対応
- 生産性
- 設備管理
- 可視化と統合オペレーション
- 意思決定支援



国内外で1,000件以上のプロジェクト実績で培った 高度制御とソリューションにより 深刻化する各地域の水問題の解決に貢献

- 上下水管理
- 淡水化
- 下水再生水の飲用化循環
- 排水、汚水
- 配水・パイプライン
- 漏水管理

(写真提供：ラス・ヴァージェネス水道局)



ご参考：カリフォルニア州における再生水の飲用利用への貢献

再生水の飲用利用に向けて、米国での下水処理施設の運転を最適化する実証試験に成功 ～米国再生水学会より「変革をもたらすイノベーション」賞を受賞～

<https://www.yokogawa.co.jp/news/press-releases/2022/2022-03-25-ja/>

世界の水ビジネス市場においてプレゼンスを発揮している企業として 経産省のWebマガジン「METI Journal」で紹介される

“カリフォルニア州では上下水道を自治体が運営していますが、新たな法規制に対応するためには高度な処理によるコストの増加や、安全性を確保するための水質モニタリングの仕組みづくりなど多くの課題があります。当社はAIやクラウドの運用による維持管理のコストダウン、迅速な水質測定システムの開発により、他社にはないソリューションを提供できると考えています。”※



カリフォルニア州ラス・ヴァージェネス貯水池（水道源）
写真提供：ラス・ヴァージェネス水道局

環境国際会議

「15th Annual VerdeXchange VX2022」に参加

カリフォルニア州関係者や市民と積極的にディスカッション

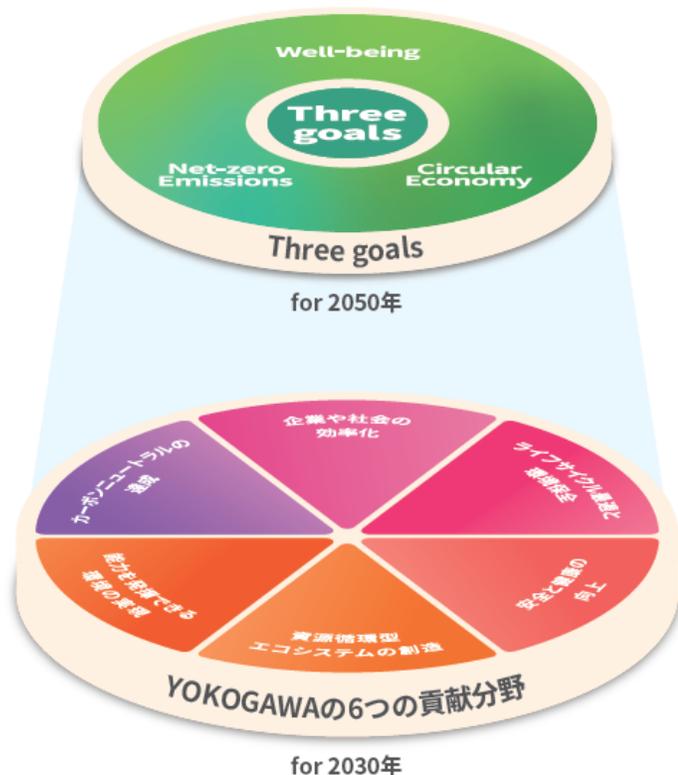
“カリフォルニア州で実施した本事業では、さらに社会問題を反映した法規制の変化を理解する必要があり、設計技術者、分子生物や水質工学を専門とする研究者、水処理施設の現場実務者、市民の声を反映するNPOと率直な意見交換を重ねました。”※

※ 出典：METI Journal 2021/11/18「政策特集 水ビジネス海外戦略
未来を切り拓く羅針盤 vol.2-2日本の戦略とパートナーシップ（下）」
<https://journal.meti.go.jp/p/18483/>



写真提供：VerdeXchange

事業を通してお客様事業の課題を解決し、社会や環境に大きく貢献



Well-being
 すべての人の豊かな生活

Three goals 2050年に向けて目指す社会の姿

Net-zero emissions
 気候変動への対応

再生可能エネルギーの導入やエネルギー利用の効率化に貢献することで、温室効果ガス(GHG: Greenhouse Gas)の排出と吸収の均衡が保たれ、大気中のGHG濃度が上がらない状態、Net-zero emissionsを目指します。

Circular economy
 資源循環と効率化

さまざまな資源が無駄なく循環し、資産が有効に活用される社会の枠組み、エコシステムの実現を目指すとともに、地球を循環する水資源の効率的な利用や安全な飲み水の確保にも貢献します。

2030年に向けて貢献と成長を加速させる
6つの貢献分野

カーボンニュートラルの達成
 GHG排出の抑制と、安価で信頼できる持続可能なエネルギーへの転換

企業や社会の効率化
 DXによる生産の効率化、自律化と資源・エネルギーの効率的利用

ライフサイクル最適と環境保全
 プラント資産の長期最適運用と環境負荷低減の両立

能力を発揮できる環境の実現
 一人ひとりが尊重され平等であり活躍できる環境の整備

資源循環型エコシステムの創造
 バイオエコノミーや資源循環システムの確立

安全と健康の向上
 ライフインノベーションの推進とプラント、地域社会の安全向上

大きく変化する外部環境の中、**スピード感**を持ってAG2023の**戦略を実行**し、**目標達成**に向け加速していく

- ✓ YOKOGAWAの強みを生かし、**さらなる成長発展**に向け変革
- ✓ 市場を上回る成長と市場環境に左右されない**収益性向上**を実現する
- ✓ 長期的目線で、**非エネルギー業種ビジネス拡大**、持続可能な社会の実現に貢献

Accelerate Growth 2023

測る力とつなぐ力で、 地球の未来に責任を果たす。

**Utilizing our ability to measure and connect,
we fulfill our responsibilities for the future
of our planet.**

「測る」は、YOKOGAWAの原点であり起点です。ものごとを測り、今ある状態をとらえ、見通し、そこから導き出される情報に価値を見出してきました。また「つなぐ」は、YOKOGAWAが価値ある情報を結び付けるだけではなく、さまざまな産業におけるお客様との信頼関係を築き、企業と企業、産業と産業の結束点となって、さらに価値を共鳴させていくことを意味しています。

「測る力とつなぐ力」はYOKOGAWAが決して失うことのないコアコンピタンスです。その力を今日の社会課題の解決に生かし、人と地球が共生する未来をかなえたい、そうした思いを「地球の未来に責任を果たす」というコミットメントに込めました。

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

横河電機株式会社

IR部

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

Co-innovating tomorrow™

